

畧譜

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚



内閣文庫		
五二九	三六〇八八	和
九架	二二	書
		類



内閣文庫	
番號	和 36088
冊數	211(47)
函號	156 17

畧譜

甲

大塚

大河原

大木

大森

大尾

大橋

大野

二百十一冊ノ四

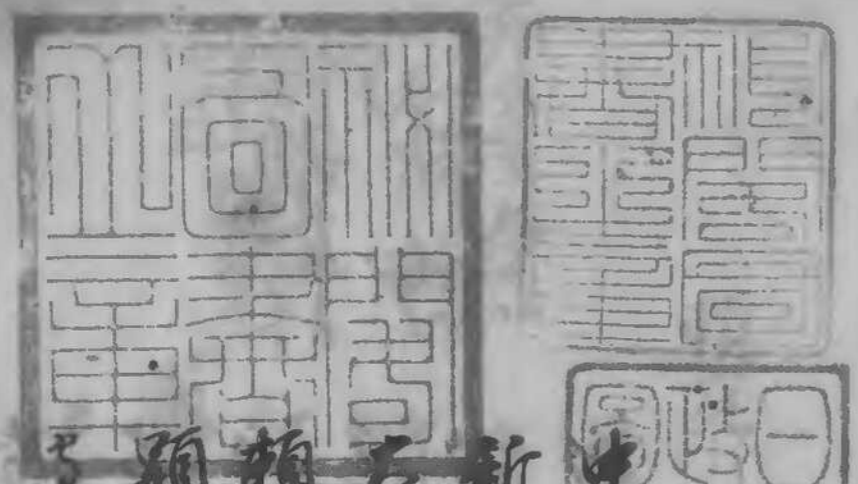
三ノ部現共十五

庫	文	閣	内
五	三	二	和
六	六	一	香
面	〇	冊	類
九	八	架	
架	號		
	七		
	四		



内閣文庫
番號 和 36088
冊數 211(47)
函號 156 17

共十五



大森

大森

新治清和ノ御家ニ長治ノ御孫トシテ

大森村住居氏トシテ長治ノ御孫トシテ

頼忠 頼忠ノ御孫トシテ長治ノ御孫トシテ

頼代 頼代ノ御孫トシテ長治ノ御孫トシテ

頼定 頼定ノ御孫トシテ長治ノ御孫トシテ

頼成 頼成ノ御孫トシテ長治ノ御孫トシテ

頼高 頼高ノ御孫トシテ長治ノ御孫トシテ

家茂或頼成也

五七相

高野寺

記録御用所

天和元年十二月五日、幕府の御事、
年八月廿九日、幕府の御事、
天和元年九月廿九日、幕府の御事、
天和元年十月廿九日、幕府の御事、
天和元年十一月廿九日、幕府の御事、
天和元年十二月廿九日、幕府の御事、

頼重

大森松平

天和元年十二月五日、幕府の御事、
天和元年八月廿九日、幕府の御事、
天和元年九月廿九日、幕府の御事、
天和元年十月廿九日、幕府の御事、
天和元年十一月廿九日、幕府の御事、
天和元年十二月廿九日、幕府の御事、

邦頼

大森松平

天和元年十二月五日、幕府の御事、
天和元年八月廿九日、幕府の御事、
天和元年九月廿九日、幕府の御事、
天和元年十月廿九日、幕府の御事、
天和元年十一月廿九日、幕府の御事、
天和元年十二月廿九日、幕府の御事、

永賴
 家曆七十五年十一月廿五日
 上宮死十七年乙酉年也

一 河津夜歌 一枚
 一 河津夜歌 二
 一 唐侍所多様 日三枚
 一 唐侍所多様 日三枚

一 河津夜歌 一枚
 一 河津夜歌 二
 一 唐侍所多様 日三枚
 一 唐侍所多様 日三枚

永賴
 家曆七十五年十一月廿五日
 上宮死十七年乙酉年也

秀吉書翰

大森林儀致

新設

頼征

浪右退吏

宝曆七年八月十九日

年有月十日

海福の事

の事

の事

の事

頼頼

大森林儀

の事

の事

の事

[Faint, mostly illegible handwritten text on the right page]



有京姓

大森

張光國武也
言立言

大森信清守賴直長子治男

貴矩

英信(白府)廣長坂男
大森大郎七郎

長子(平書)信清(書)口切(本)之(百)信(了)天(和)元(貞)年
音(石)分(知)之(意)信(也)
伊(四)子(長)德(守)年(年)

頼貴

天保七年八月廿一日
大坂市南區

日守守務

天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日

頼道

天保七年八月廿一日
大坂市南區

天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日

守務

頼勝

大坂市南區

天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日

日守守務

頼征

天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日
天保七年八月廿一日

頼村

大森大守

与藤井外記 徳吉 齋

高白名

明和二年五月十日 高白名 徳吉 齋

女水二 自年七月十日 高白名 徳吉 齋

宣和二年四月十日 高白名 徳吉 齋

宣和二年六月十日 高白名 徳吉 齋

宣和二年七月十日 高白名 徳吉 齋

宣和二年八月十日 高白名 徳吉 齋

親好 牛島通智

廣忠君 在

天正二年正月 幸

好治 幸

廣忠君 在

天正二年正月 幸

源姓

大森

履歷 幸

家教九内 徳吉 齋

二年四月十日 幸

好長

大森幸七郎

好長 幸

廣忠九年 自自今之元和元年八月廿

八日 幸 幸

二年二月十日 幸 幸

井上二年 幸 幸

室永也言五年二月癸亥百老子の日六也年
 月廿六日早書法者の正徳二在年四月廿六日
正徳四年七月十日
 書の重慶也言五年二月廿七日早書法者の正徳二在年
 三月廿五日百老子の日九在年四月廿八日
 和在教心城門後の日十一在年四月廿八日
早書七年七月十日
 神貞子の四月廿七子年八月廿七日早書法者の日
 日年法在交の月十九在年十二月廿二日
 法在之四月廿七日早書法者の日
 月廿七日早書法者の日
 月廿七日早書法者の日

四月九日早書法者の日十一在年二月廿六日
 七年式早書法者の日

成書

元文三年十二月百老子の宝曆十在
 年四月九日早書法者の日十一在年二月廿七日
 法者の日七在年二月廿七日早書法者の日
 日年四月廿七日早書法者の日
 年四月廿七日早書法者の日

早書法者の日
 大森林也言

吉澤中八言也

隆母

大森八郎左衛門 百廿七歳

宝曆十一年九月晦、出陣、翌日、
山和越、百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、

長興

大森八郎左衛門 百廿七歳

百廿九日、

百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、

長美

大森八郎左衛門 百廿七歳

百廿九日、

百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、
百廿九日、



源姓

大木

家茂 九月枕乘
二月西

字三白信

大平大武守國... 陸奥甲以大平... 氏大平... 親也

親精

大平信... 大平信...

寛永九年九月...

德元元年九月...

源姓

大木

大平大武守國... 陸奥甲以大平... 氏大平... 親也

葬

親貞

大木信玄書

長月八日

元禄三年 三月廿九日

元禄三年八月十日白江目録の寛文二
寅年六月十日半人徳貞寛文六年
有月十日半人徳貞元禄三年六月
十日高瀬の事也寛文六年六月十日
寛文十三年六月十日有死に後同為同守
葬

親英

大木信玄書

信玄

元禄三年十二月二日大木信玄の寛文十
年正月十日死に葬

親繁

大木信玄書

信玄

寛文十三年十二月十日白江子の月十日
二月十日白江子の月十日寛文十三年
二月十日白江子の月十日寛文十三年
二月十日白江子の月十日寛文十三年
二月十日白江子の月十日寛文十三年

永正元年十二月九日死七拾二歳正月廿

親房

大木宗元

房

了之百俵

親幸

法寺師

明和七年十一月廿一日... 了之百俵

年十二月廿七日... 了之百俵

日大書の天明六年十一月十三日... 了之百俵

寛政三年十一月廿七日... 了之百俵

十の五系... 了之百俵

玉の寺

寛政七年... 了之百俵

者系姓

九月十日

大木

了之百俵

藏國位人大木宗元實子也

種勝

大木古三

有堂和泉守方... 了之百俵

文照院... 了之百俵

石前... 了之百俵

山後... 了之百俵

少後... 七... 惣... 拾...

種改

大...

享保十三年十月... 年...

種原

大...

長...

寛保元元年七月... 廿五年... 日... 乙...

種安

大...

全...

乙...

天保七年二月廿三日
五月廿三日
乙卯年九月廿七日

氏 末吉 子台

定例 九月廿七日

[Faint bleed-through text from the reverse side]

之校姓

余

丸内校
ニツ川
ニツ川

天津彦根余十郎世達巳呂命陸奥甲辰

茂孫野呂良人六官年大氣之校身國捕

男野呂今身相末余大木因捕与親老思

取

親忠

余外記

宗亮

仲中斐國茂於大木今在伯武田家屬

勝頼滅亡後天正十年年

権北権下迄忠甲辰申終身可相成言ふ

知内奉八月八日信長死由史載之節

河前打死劫後九年

親惣

大永才五信

初代

天保十年年父打死言以判物及裁〇四指

番〇共長二五年九月下百死〇程〇長

田舎戒行奇葬

親改

大永才五信

後代

若妻^長二五年年家信〇川取言〇〇万治元

戌年九月三日死〇奇葬

親澄

大永才五信

信長^〇

万治元戌年家信〇大永才五信〇〇〇〇〇

七月廿二日信長死〇九月廿年十月百病

免〇信長〇家信〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

壽

親清

大永正御

之福六、貞平、三月九、山莊、四月七、成
年七月八日死、同寺

親明

大永正御

之福七、貞平、三月九、山莊、四月七、成
年七月八日死、同寺
格二系、同寺、同寺

親明

大永正御

市之必

軍山、貞平、三月九、山莊、四月七、成
年七月八日死、同寺
淨惠、後、御、山、莊、貞、平、三、月、九、日、死、同、寺
成、年、七、月、八、日、死、同、寺
在、山、莊、大、永、正、御、所、同、寺、同、寺

親盈

大永正御

市之必

限后 都外

享保九年六月廿七日
九月廿七日
二年十二月廿七日
日吉書
二年八月廿七日
死

京市

親敬

山和

九月廿七日
二年十二月廿七日

京市

親意

京市

二年十二月廿七日
二年十二月廿七日
七年



大正天皇御

千乘親王
将恒 餘高 德園 正馬 初大 正行

年所

家茂 徳内一辨
大正天皇

高正 千太郎 一人 正行

未
名任 流 櫻 御 代 西 春 露 沼 有 正 系
高 推 彦 俊 之 命 授 持 〇 寛 永 八 十 年
月 以 七 百 病 死 出 石 門 皇 祖 守 系

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names like 'Mitsuhisa' and 'Mitsuhito']

系

大木利定

寛永二戌年。水督之元勳。中後段者元禄
二年。七月。未日。病歿。葬地。口上。

系

大木佐助

元禄二年。水督之元勳。口上。元禄二年。口上。

真

真
由親

大木源七郎

口上。元禄二年。水督之元勳。口上。元禄二年。口上。

進山類之番。至唐七。至本年。正。山。有
病。死。中。後。及。歲。

大本全書

真
則

至唐七。至本年。正。山。有
病。死。中。後。及。歲。
卯。年。二。月。各。病。死。之。番。○。以。是。年。
七。月。日。復。及。大。之。番。○。以。是。年。十。月。日。復。
種。張。志。何。待。○。以。七。年。十。月。日。復。有。志。者。

格。得。○。實。政。元。自。年。十。二。月。十。日。出。殿
酒。及。日。○。年。以。以。作。月。○。以。子。年。十。月。
十。日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。七。
日。自。是。後。分。各。日。各。日。格。○。以。七。○
上。月。日。自。是。後。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。
日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。七。
上。年。願。政。方。○。以。是。年。十。月。日。出。殿。
○。以。是。年。十。月。日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。
日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。七。
○。以。是。年。十。月。日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。
日。出。殿。事。中。日。○。以。是。年。十。七。

和譜

高之孫長慶人長將

芳乃有傳平反

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



洋行

夜行世有長久何財

長夜 九月槐葉
三ノハ

大木

三ノハ

天津長慶命十段以孫達已長命後
胤甲斐國八代郡野宮長人太宰奉
之校守國攝男野宮助守將東流軍
大木長慶人太木因情与親古也於外苑

親古也於外苑

大木長慶

忠古

台江院御清代送官新紙
皇行
皇石。

大徳院御清代送官新紙。寛文二年正月
廿一日病丸江台南寺町戒形寺在

大不七番高 助二番

忠改

寛文二年正月廿一日

儀禮御清代送官新紙。之後小普信合元

寛文二年正月廿一日

寛文二年正月廿一日

大不七番高

忠改

寛文二年正月廿一日

寛文二年正月廿一日

寛文二年正月廿一日

寛文二年正月廿一日

寛文二年正月廿一日

後全^房守原^主本年六月廿日病死在
六歲卒在同上

本年以爲高 八助

親迄

享保十三年十一月廿日有大害日只
八月十六日新築日守保之本年九月
六百多智日進享之本年十一月十六日新
築祖^の也和之於本年二月廿日也。

口年十二月廿日布衣。口年十一月
十九日病死七福也本年在同上

本年以爲高 長助 今保

親迄

口和六年十一月廿日也智。口廿年
口和九年病死之福也本年在同上

大石石 古助

親宗

以想 廿五年七月有 皇智。寶渡皇
年六月每日 命書。同七年二系五
者之 皇宗 皇皇 皇。之後 皇書
同廿一年九月 皇皇 皇皇 皇皇
上皇 皇皇 皇皇。

一 檢校 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

大石石

初稿

皇皇

皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

大河原

初稿

皇皇

大石石 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

先改

大河原 皇皇

檢校 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇
信皇 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇
皇皇 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇 皇皇

十二月廿二日遠州二方系河内守長子
身致林原小平左衛門尉之屬之討死

正勝

大河系源氏在馬 外記

元龜二申年十二月廿二日遠州二方系河内守
長子河内守長子河内守長子
屬之相働其後河内守長子河内守長子
寛永四卯年二月廿二日死七十五歳

正良

初紫田檢校在馬 後大河系源氏在馬

始紫田檢校在馬名紫田正良勝政佐次
正良不調法之故有之松平下總守、河内
○慶長六年正良正良、異父兄弟之續之
以為正良代

檢校

宣年於後河内守河内守河内守
宣年於後河内守河内守河内守

孫在令後之及封之柴田於其後之名前
相化元上少少

將現極其能 涉流地祖文大河原源大在馬光政
武勇之譽者之今柴田之及大河原之
之稱名家 上意大河原之及元和元
和年大河原凱陣之首於之別是崎
心涉教活之席之也 右出汝乃累世傳來之
名同於其傳之及源大在馬之及名之住也
後 上意境是大河原源大在馬之及元

大猷
二原年涉腰扣在也。寬永十四年二月十日
大猷院極家 上意 涉前近在也。元應二己
年六月十日死年七氣賜也。念之孫

有與
大河原源大在馬 德居宗休

必多之及年
十有月十日
後有院極涉代中書院番其後也小納戸。天和二
成年八月病免。元祿十五年六月
十日隱居。正徳四年十一月十日死

七十歳回寺

後育院極楽寺筆由内爲卷之卷也一物而終

実徳寺住持志直二男

大河原源次郎

今太郎

源次郎 舟樂

有直

元禄八亥年七月六日養子○日十五年七月

二亥未時生○日十四巳年アノトキ中書院書○亥

保十二戌年二月九日病免○日十七子年回

六月十日没命○寛保二戌年十二月十二日死

七十八歳回寺

喜直

大河原助之郎

有信

初見○享保十二申年九月廿二死回寺

才七男

大河原源七郎

有次

享保十二申年十二月八日七男惣从○日十四

酉年八月七日死回寺

有因

有光

大河原源光男

右之郎

享保十四年九月廿八日男惣从。同十七
子年同六月十日家終。寛保元年十月
廿八日元書院書。同二年十月十六日病免
。宝曆十辰年七月廿七日書院書。安永
三年、駿府立書院。同六年七月廿
日改。寛政四年六月廿七日、死。年七、葬

同奇

有景

大河原全右郎

明和二年四月十日、妻女子。安永三
年、初見。天明四年、十月十日、死。年五、

有改

大河原源次左衛門

秩次郎

字、右百衣

賜心

大河原千代丸

寛文二箇年十一月廿九日新親少人組の
因年十二月廿二日十人扶持の同日辰年三月
廿七日切米百俵の天和二年四月廿九日
二拾九条泊也子孫本方と乞守并

定心

天和二箇年四月十日辰子の因二箇年七月

大河原千代丸
天和二箇年七月十日辰子の因二箇年七月

三百箇年〇自寛文元年四月廿五日半

人組の之福十五年二月八日新出番百俵

加寛〇因上六箇年二月廿九日辰子の

〇寛文二箇年二月廿六日新出番百俵

〇字年二月廿八日新出番百俵

〇字年二月廿七日辰子の辰子の

言

大河原千代丸 控印

之福七年年三月十日辰子の辰子の

之武官の権限

西暦一千九百零七年九月七日

二月二日大正六年四月十年三月十日

日五年九月五日大正六年三月

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

在東京

九月五日

大正六年

三月十日

俄國之同伊國法就大正六年四月十日

之世大正六年四月十日

時安

大正六年

松平加賀守... 文部省... 三月十日

位初切長子の貞享二年二月下
お梅田屋京社組の同富三年切糸式
百俵の元福十二辰年七月病死の正永
元申年十二月夕也申友出書信の正徳
二年二月夕死牛の七新守所之成
年身

貞茂

屋中徳興之末系流男
正河京社組之節

正永二年二月夕死牛の七新守所之成

貞茂百家譜の貞享二年二月下
少人組の貞享元子年十二月百病死の
宝暦七年正月八日死七辰六歳以守身

貞安

大河忠十郎

貞享二年二月夕死牛の七新守所之成
年四月百家譜の貞享元年七月死
八月新書の貞享八年七月死
年身

良寛 貞享

貞享九年十月
古より水鏡、伝
正永

良房

大和系家系

三子百依

西元七百年七月九日別院 思公之次子

西元八百年七月九日又死於此 曰天國之

西元七百年七月九日新田番 曰三年 曰九年

西元八百年七月九日 曰九年 曰九年

西元九百年七月九日 曰九年 曰九年

西元九百年七月九日 曰九年 曰九年



在京姓

大和原

大和系家系

西之惣氏

大和系家系

西之惣氏

西元八百年七月九日 曰九年 曰九年

西元九百年七月九日 曰九年 曰九年

西元九百年七月九日 曰九年 曰九年

之良

大内源氏

室中六代年四月六日... 年十月十日父死... 二月廿九日死... 葬

信長

大内源氏

元文四年六月廿九日... 大内年二月廿九日父死... 葬

勝人

大内源氏

本水八代年十二月廿一日... 二月十日... 元文四年二月廿九日

勝原

古河系源太郎

子二百餘

長治七年十一月廿七日

Handwritten text in a rectangular box, likely a record or document.



有京姓

少山

長村田

子二百餘

家茂

二氏在巴
五三桐
白輪月一尾指授

長守府將軍美郷後流少山在馬射殿
穴代村田阿波子改盛三代紀伊國守
白戸上長山村田長山英政君依

英茂

大塚在長山

海人白江戸存在山邊

常憲院極押代御自有之長山

沖田陣の貞享四年七月十八日新祝
 上層の者或百俵名子村田に改め給は
 け付の者母方祖下野國郷士大塚又亮
 名子取用しん之元禄三年二月十八日二
 九張者四月十五年十二月廿五日御下書○
 月三卯年十月廿五日令方令項或の月廿五年
 六月百小所公取活書の月年七月十八日麻
 布の取活書の口使之元年二月廿五日小書信
 ○享保十七年二月廿五日九上書信書方力
 大塚市 大塚市

○病免小書信の享保十七年九月八日病免
 七張取活書の口使之元年二月廿五日小書信

英漢

大塚市 大塚市

享保十七年十二月廿五日家書の月九卯年
 八月廿五日書の口使之元年二月廿五日
 十二月廿五日明和元年二月廿五日七張或
 大塚市

英資

大塚兵九郎

宝曆六年九月七日... 和二年六月... 和二年六月...

英... 年二月...

... 二月七日... 二月七日...

年八月...

... 運津...

... 元世年四月...

... 山形...

... 行...

元禄九年九月十九日... 同九年九月十九日... 翌日... 上院... 三月... 此

英昌

忠氏

宣和七年二月... 宣和七年... 宣和七年... 宣和七年... 宣和七年...



源姓

大塚

九月二十

三白集

征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人...

大塚

河内

五言

征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人...

征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人...

征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人...

征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人... 征伐國征人...

己卯年二月十二日老死...
丁卯年十月五日...
十九日七...
本福台守...

友直

友直

退費

退費

癸卯年二月九日...

...

...

Handwritten notes on a slip of paper, including the characters '退費' and '友直'.

退費

友直

退費

友直

...

...

...

...

...

是借子書此卷也
不新多 抄見餘
西王以佐者之
名 願有
二 丁 丁 丁
白 海 福
江 月

裏面白紙

己卯年六月十一日老死...
小の同年十月五日...
十九日七歳...
本福吉守并

大塚源忠

景書

法后退賢

友直

癸卯年二月...
年四月...
年九月...
年十月...

法后退賢の年...

友次

美濃金助...

大塚源忠

友次郎 景書

高之百俵

乙卯年十一月...
年十月...
田安寺...
如也

二會集

信明

大塚本吉書

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

信春

大塚本吉書

信春

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

信春

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月
嘉永元年十一月

信勝

大塚信勝

宝曆元年十一月八日家督の如く
年八月七日死に後継者未定

信之

大塚信之

豊後守

大塚信之

宝曆元年十一月八日家督の如く
年八月七日死に後継者未定

源姓

源姓

九月二十三日

大塚

大塚

大塚信之

光廣

大塚信之

宝曆元年十一月八日家督の如く
年八月七日死に後継者未定

徳光

大塚清太郎

長母

三武田康

寛文十一年六月廿七日 徳光の母 貞子 没年十月廿日

有徳は徳光の母 貞子の母 貞子 没年十月廿日

貞子の母 貞子 没年十月廿日

貞子の母 貞子 没年十月廿日

貞子の母 貞子 没年十月廿日

貞子の母 貞子 没年十月廿日

貞子の母 貞子 没年十月廿日

郷光

長母

源姓

源姓 九月廿二日

大塚

源姓 九月廿二日

徳光宰相殿勤仕大塚清太郎某之男

重時

大塚清太郎

新親 貞子 没年十月廿日

中ノ口 貞子 没年十月廿日

二葉 小石川 津雲 子 没

時宜

大塚清玄清

天和三年十二月夜宿百俵之人被劫○
元禄七年六月廿一日相之間也書○同年
閏六月六日大出書○元文元年九月
病免○延享二年九月廿八日死享年六
日寺

時睦

大塚彦十郎

彦六

陸翁

正徳元年六月十三日貴子○日二年
初見○享保十三年十月廿六日大出書○
日二年二月廿七日小令東寺藤村出倍○
元文四年十二月十八日丹後小出倍○寛保二
年六月廿六日免促金坊出倍○日二年
丹後國小代友而小出倍服○延享二年

九月廿八日又死同言。同日二年七月十日
病免。○宝曆九年十一月十八日隱居。○安
永九子年三月八日死。公十六歳回寺。

其大塚清信時五男

大塚清二郎

時央

寶保二年六月廿七日養子。○延享三
宣年二月廿八日初見。○宝曆九年十二月
十八日家傳。○明和元年同十二月廿六日死。年

八葉回寺

其松平隆俊子安士

栗生之宗九子初見二男

大塚二郎九郎

秀之忠

時常

明和元年同十二月三日養子。○同月廿

夜傳。○同十二月廿六日清見。○安永

二年二月廿八日大出番。○天明六年

七月以水戸拜借令二千兩。○同八年六月

病免

曆正七年二月十日婦輝初見本即候是
為有活波を為格。元
后の言及上未申付十日死七十九氣回与

信所

古塚 三太郎

明和女子申八月廿家落。同申十月初見。
本水三年申八月廿廿廿廿廿廿廿廿廿。
御改申候申。高小作候或人持持



源姓
大塚
村上天台の山系松入道則村十六代大塚
依次太馬守盛久一人只代

盛久

大塚名三郎

明和八年六月廿廿廿廿廿廿廿廿廿
十八日申事方南分候波。同日未申八月
廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿廿

申年六月廿七日在院用此儀式沐浴。同日
六月廿八日午時。同日十月十日。同日
信院在法華寺。同日十月十日。同日
更沐浴。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。

修慶園。同日十月十日。同日十月十日。
在深澤。同日十月十日。同日十月十日。
方音院。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。
同日十月十日。同日十月十日。同日十月十日。

三木守身

定頼

大野友助

西原三活

徳田忠成之新証以長考之徳正二年三月廿
七日切米成百俵米北垣の月十三卯年四月廿
日迄以相指百俵○家水之四年十二月卯九
として相与中書の心法之三年十月大田忠成
○重保二年十二月廿百俵元之文信事年
有月廿九日中三系物也三木守身

定春

大野堂之助

家水之四年十二月廿百俵長子の月廿九年
月廿日重保の重保の在年十二月廿日
二月廿日十月廿九年卯九初○元之文信事年
七月廿九日○元之文信事年八月廿日
有月廿九日守身

定安

大野友助

又之節

三木守身

天明七年九月廿六日
寅時 天照太皇太后御
宣讀 宣旨 九月廿六日
宣讀 宣旨 九月廿六日
七年九月廿六日 宣讀 宣旨

定盈

大野七三郎

寛政九年六月九日初見

源姓

天保九年曜皇

大野

三三三

履歷

志

大野七三郎

三三三

武田家 江田 長陽 為 守 以 勝 於 辛 丑

履

植 根 七 三 郎 初 見

○享保七箇年八月廿百廿日○同日七子
初月廿百病死○元文元辰年十月廿百死
○同日百廿日年身

元倚
大野子三郎

元正元辰年十二月廿百家督○日之年
年二月廿百大野○寛保三年十月
廿日病死○寛文三年六月廿百死

元宣
大野同守

元宣
大野同守

寛文三年八月廿百家督○宝曆七箇年
八月廿百死○同日年身

元久
大野左衛門

宝曆七箇年十月廿百家督○同日六
年七月廿百死○同日年身

之壽

天一陽居古高白或信

大野南太郎

心武曾石 内之桂信之屋来

明治六年十月六日

分海曾大在昔の天の二百年十二月九日

新書の同六年十月十日

政九年十月八日

皇の天の元年十月十日

三五

源氏

大野

天枝乃内花葉

三五

源氏天皇の御代

大野南太郎

大野南太郎

義書

寛永八年十月十日

日光山依宿文十三年十一月十日

堀中何年

義直

右野左衛門

寛文十二年十二月又書代西庄之三年
八月廿九日在公家内卒

義和

右野左衛門

西庄之三年又書代西庄之三年七月
八月廿九日在公家内卒

同日八月廿九日在公家内卒
同日八月廿九日在公家内卒

義著

右野左衛門

右野左衛門

同日八月廿九日在公家内卒

元文三年九月廿九日在公家内卒
同日八月廿九日在公家内卒
同日八月廿九日在公家内卒
同日八月廿九日在公家内卒
同日八月廿九日在公家内卒

正徳二年十一月二十日
 二月
 三月
 四月
 五月
 六月
 七月
 八月
 九月
 十月
 十一月
 十二月

正徳

大野市十郎

宝曆十二年九月八日
 年十二月八日
 三月

正徳

大野市十郎

正徳

明和七年七月
 八月

正徳

大野市十郎

正徳

嘉永六年九月廿三日

Handwritten text in a rectangular frame, likely a list or record of names and titles.

平姓

大野

大生八郎玄孫十七代大守市左衛門

定年 左衛門 長男

定成

大守市左衛門

五治三年二月十一日横田内教出書
院友の世宗二年二月十日伊予書
貞享三年二月九日甲州出書

延應元年八月廿七日自薨
○同二年八月廿七日自薨
一尋

定良

大正十三年 十郎

貞享三年 横田少教此此の同日
年 山内番の定永同其年二月西
九相 山内番の二山内三年五月十日

山内組の同一年二月十日自死同寺
葬

定穩

大正十三年 十郎

宝永六年 山内少教此此の
享保九年 二月十日自死同寺
己年 山内組の同一年二月十日
其同日自死同寺

定復 大橋 大橋 大橋

定復

大橋 大橋 大橋

大橋 大橋

安永三年三月十日 養子 安永三年三月十日 養子

年八月廿日 上之橋 五物二日 月

十月三日 上之橋 二日 月

十二月三日 本下川 初村 四日 月

高之百儀

親信 大橋 大橋

大橋 大橋

友成

友成 大橋

大橋

大橋

葛原親王廿七代 後胤 大橋 傳十郎 能登六代

大橋 大橋 大橋

親次

大橋 大橋

大橋 大橋

大橋 大橋 大橋

大橋 大橋 大橋

大橋 大橋

九日死

親交

大橋正以与 孝年 十九年 三十一

享保七宣年六月二日家終。同十六年

三月六日河小北組。同十八年六月十一日

大坂出目系代。元文二乙年同十一月十八日新

西九河也姓組系代。延享二五年九月朔日

石入杉橋 河平九河移去

大綱多橋山附。寛延二年三月十八日出目也。

寛曆二申年二月十六日長海奉行。同乙亥

己月九日(由勘定奉行)同八宣年十月亦九日

相馬陣山少廻上水也款。同十二年九月廿二日

法皇國中村と死。

大橋海老と卯

位則

宣延元年未詳

傳信院様御代祀。

父正以与永也款。長位則美

共政易。同乙亥年己月亦六日改易河也



○同天子年高月及廿五抱少人。其後大

正安。安永六年十一月廿六日病死

信之 大橋氏

大橋氏 大橋氏

大橋氏 大橋氏

親重

寬永元子年初

親親

古德院様 御目之。寬永六己年八月廿外

百依。其後並所加増。其後廿年領於合口

○慶安己卯年大正百祖以正加増百依。寬文

大己年大改正親手正加増百之。寬文六年

八月七日病死大改附湖与葬

大橋氏 大橋氏

日記

親宗

百治二己年七月九日初至任。其後八月廿日

寬文六年七月十一日父遺領。八月廿日

終二百依。就任正男大橋氏在任。其後

○宝永己子年十月廿九日病死。正徳己未年

七月十二日湯衣。享保己子年十月廿九日病死

高田宝祥与葬

之信正己年七月廿

親清

大橋三郎左衛門

謀

寛文三卯年十一月廿七日新叔大由者二百俵

大橋兵右衛門

新叔大由者即百俵。惣叔大橋三左衛門新由者

○其後

親法

大橋三郎左衛門

寛文三年十一月廿三日新親大由若孫儀

某

大橋兵左衛門

新親大由若孫切采山白儀

某

大橋三左衛

新由若。大由若枝木身。享保十七年十一月廿二日病死。田宝福与若

某

安國友三左衛門
大橋三左衛

大由若。其後私養祖父大橋源去。存若者
義絶

某

大橋傳七郎

親法
大橋三左衛

不傳。儀有。以絶

某

大橋与右衛門

寛文六年七月十一日北百不知大由若。○
天和二年遁世仕有馬玄友。以絶。其後

親法
寛文三年七月十一日
北百不知大由若
以絶

元禄六年年出領清光。元禄九年八月廿日
病死葬地同之

某 大橋友在馬

父道世之長大橋三希丸出領。享保二
官年出領。清光其後病死

某

同引之長大橋玄右馬。出領。友在馬同時
清光。其後病死

親父

大橋源左衛門

正徳六年年七月十二日家終。享保二面年

四年七月十日

三月十八日出領。同十九官年二月廿日

病死葬地同之

親明

大橋源左衛門

佛し御

享保十九官年六月二日家終。享保二十九年

四年七月十日

九月六日出領。迎享二五年九月十一日

寛政二戌年四月十二日此北口七年三月
五ヶヶ在格了

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

源姓

家紋 花紋

大橋

高百五

足利源政と源貞氏後胤小松中納言家康大橋
貞及貞清二男

貞和

大橋友亮

浪人ニて従才也在事三宅欠在備門和孝方ニ
兵在如正徳元卯年此在事ニ惣領ハ勿論
次男ニ男従才ト子跡宣者書出可也

以 出山 有 欠 賴 手 疏 宜 後 後 欠 在 山 上
 同 年 十 五 月 八 日 湯 右 等 以 出 湯 切 茶
 百 兩 指 依 ○ 享 保 十 六 亥 年 五 月 廿 日 老 死 合
 初 廿 下 ○ 同 十 七 子 年 六 月 廿 九 日 病 死 七 十
 二 歲 濱 弟 八 刺 寺 町 東 陽 寺 葬 ○ 寬 文 九
 酉 年 九 月 欠 於 父 大 橋 主 及 欠 法 後 後 位 下
 位 後 和 氣 津 休 讓 文 山 也 之 父 母 抄 初 字 正 賢 宗
 一 軸 于 今 所 持 世 書 之 末 末 州 外 本 所 持 庫
 之 上 橋 本 人 凡 著 述 之 世 中 傳

欠 取

大橋重舟後子重宗大橋元五五門名澤也凡
大橋友九郎

正 德 三 乙 年 初 月 廿 九 日 智 尊 養 子 ○ 同 未 年 三
 月 六 日 後 初 後 位 在 等 出 切 弟 百 兩 指 依 ○ 享 保
 九 后 年 十 二 月 十 二 日 與 出 在 免 ○ 同 十 二 申 年 四 月
 日 克 沖 社 系 沖 用 也 沖 依 後 府 後 就 首 尾
 能 所 用 相 勅 令 取 取 時 股 二 淨 領 ○ 同 十 七 子 年
 六 月 廿 九 日 養 父 欠 於 病 死 之 知 父 子 同 子 有 弟 等 之
 未 取 ○ 同 十 一 后 年 正 月 廿 一 日 表 出 在 等 組 取 ○

元文二年六月

後明院極沙羅生所用至御七夜 御書系上地

用相初小身金沙收時股二坪額○寛保元酉年

八月

有徳院極 御納付

博信院極 御納付所用至金沙收時股二坪額

○延享二年三月於紅葉山 御書八講也

執行所用至金三股時股二坪額○同年九月

博信院極 御代給所用至金沙收時股二坪額

同三寛年六月寺社領

御書系上地所用

至金沙收時股二坪額○寛延二己年七月八日

御奉吉沙羅生所用至金沙收時股二坪額

御書系上地所用至金沙收時股二坪額

○同二己年六月八日病歿年六十八歳御書系上地

大橋友松

御書系上地

欠恒

寛保元酉年正月十日 御書系上地

年九月六日病歿○天明七年八月六日病歿

年六十祀葬地目

貞侯
大橋元九郎
亥卯

安永三年三月廿九日養子○天四七未年十一

月七日家終○天四八申年十二月廿二日初

御見

[Faint bleed-through text from the reverse side]



源姓

源氏内三子孫

大橋

了二子孫十一子

河内源氏 文德天皇公叔平後胤河内任人

大橋元吉傳尉重慶嫡男大橋長元(河内尉重保) 二男

重乃
大橋元吉傳 小吉

正保二乙巳年

嚴有院攝西九日河徒移(初見長元傳)奉願

同年八月朔日初

大猷院様

御目見即日

正西丸出在幸

切米並百俵迎宝七巳未年十二月十九日就教年

相勤所加恩指人扶持○同九年酉年九月八日

殿有院様 荒所(衣衣海髪)○貞享二年酉年

六月廿一日湯右幸吟味役(加坊)指儀於合

此百俵指儀指人扶持○元禄二巳巳年十二月

六日湯右幸組改以 修身○同巳年未年

十一月六日病歿○同巳年申年正月晦日病死

孫承宗

一人九俵 探出筆

一四俵石 表形之九

歳七拾三 卯之西 吉幸

皇豊

子之旨

大橋元玄宗

哉之助

吉幸宗

元一

迎宝七巳未年三月十二日初見○元禄六壬申

年七月廿一日家傳○同六癸酉年十二月廿二日

出右幸没○同十六癸未年三月六日出右幸免

組改○宝永六巳丑年四月廿一日所在丸西丸

出右幸在勤方(儀)付(同)儀飯(七)九幸大橋

在幸宗所儀(正)教小善(入)通塞○同年十月八日

通塞 泚光○享保八亥卯年十二月廿六日隠居
○同十乙巳年九月二日病死甲府長遠寺所光
沃与藥

豊安

大橋平左衛門 辰之助

享保八亥卯年十二月廿六日家終○同九甲辰年
八月十二日甲府勤番○明和三年戌年七月廿日
病死威六指九葬地同之

茂休

大橋九左衛門 年次席

明和三年戌年十月廿日家終如父時勤番○同
丁亥年七月十七日病死藥二指九葬地同之

茂時

大橋次郎右衛門 巳之助

明和丁亥年七月廿日家終子○同甲辰年閏九月廿日
家終如父時甲府勤番○明和九年辰年二月
十二日病死藥二指九葬地同之

河原宿に長下西九勤。同日二年三月河原宿に
組以。宝曆元年六月

有任院様亮河原宿。同年七月

大納言柳河原。同十辰年正月河原宿九勤。

明和六年十一月十日

大納言柳河原。明和八年二月廿二日西九勤

膳所御基所改。安永七戌年二月廿二日病

死。年七十六。較々橋一河原。葬

作良

大橋太平次

安永七戌年六月六日病。大納言五年

正月十日。河原宿。同日四年閏正月死。葬

大橋地。同

茂奇

大橋國治。今在

河原宿。依之。林村

天明五年十一月十日。河原宿。同

九年。大橋

和約以後傳○牛込茶屋上河成之御世
東ノ上ノ門前通河上橋ニ立石樹中ノ
今ノ龍慶橋大橋ノ中傳○古田村光
相ノ小幡宮ニ在り建立仕上成ノ事清ホ
有リト云々○中ノ右ノ左ノ傳○日社比六十
百四子社領傳式石券附伝ハ

皇政

大橋長尾

小三郎

寛永元年

大橋院柳上河見○門八年徒那在河見
百八右右年○門十成年在河見之儀也右
年徒那及○寛元二十二年国二月晦日
死○中ノ東ノ知リ不取極ノ言ノ度能知極村
空宗寺蘇○死後知リ不取極ノ言ノ度能知極村
○古ノ改青蓮院号純觀王門人ノ事也
右子後大橋流事也
大橋院柳 右有院柳ノ事也

皇尚

美大橋長尾重政三男

大橋小三郎 少子 山尾 長尾

天祐二年十一月廿一日卒。子。貞享
三年七月十二日初見。元禄六年
二月九日誕生。位。大納言。出。家。永
七寛年六月廿二日病免。少子。入。享保
三年八月廿七日表。又。死。日。三。月。十六日
年八月廿日没。元文三年十一月

又二日。病。死。七十。位。系。出。表。叙。梅。宗。源。子
二。孫

重章

大橋小三郎 湯島

室永子年二月十二日初見。享保十六
年八月廿日家。三。月。十九日。寛
十年六月廿日。元文二年四月廿九日
病免。少子。入。室。曆。八。寛。年。八月。十。日

死に平田家葬此日家

保孝

大橋新三郎

保孝春

宝曆八年十一月廿日家葬。○門十辰
年七月廿三日死。後二家葬此日家

實大橋小三郎重章三男

重保

大橋新三郎

法外郎

宝曆十辰年七月廿日家葬。○門十

十一月廿日家葬。○門十二年十二月七月初見

○明和六年正月十九日家葬。○天明

二年正月廿日家葬。○天明

大甲年正月廿日家葬。○天明

佩祿者此日家葬。十一月廿日家葬。

及物事。天明元五年九月三日園の五内二
〇し、六年十月十日名内五内二
宣の七年より何れも

皇泰

大橋為之助

二の節百俵

安永九子年二月十六日初見。天明二年

宣二年二月九日死。信毛家

皇郷

大橋格傳十郎佐治次男

大橋為之助

天明四年正月十七日卒。子



Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

友原姓

中平姓

友原 北海老
中平 北海老
明徳 北海老

大橋

三三三

飛後守家貞十八代大橋清十郎能兼

之後大橋興之丞能親守之男

親清

大橋之郎左衛門

寛文三年正月廿二日
百儀の病光の二病又未年二月廿日
卯七年二月廿五日同室祥吉の葬

親定

親定 官房
大務傳八郎

元禄六年正月九日大坂の陣
同月廿三日拂方以細戸の宿
未年正月廿八日父死同言の享保十
九年九月五日病死の同十七年
四月死六年八月同言の享保

親実

享保十年正月廿七日
大務傳八郎 三郎在室の享保

享保十年四月廿五日大坂の陣
十七年七月廿七日大坂の陣
十八年九月廿九日大坂の陣
十八年十二月廿九日大坂の陣
十八年十二月廿九日大坂の陣
十八年十二月廿九日大坂の陣

其六百九新... 同六年
同十月廿一日... 同七年
七月廿六日... 同八年
... 同九年
... 同十年

親号

... 千...

安永六... 同...

同年十一月廿一日... 同七年
七月十九日... 同八年
... 同九年
... 同十年
... 同十一年
... 同十二年

...

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]



藤原姓
家改
九月三日刻
大園
字石

大織冠強良二世房前大官之後亂中
右大臣海教二男大忠善右忠教六代
孫三河國三任大忠二右馬忠直三男

直政
大忠二郎左美
持之助

廣忠様
權現様
大御番
石出初行武百石
石山直

右德院様御代々御勤死八十一歳

直吉

大巻次郎玄浦

慶長三戌年新親永一石出二百石
下直以書院番○以加増為方二百石
於倉八百石之後以納戸以扈從兼
常○寛永四年病氣引也石
立保養仕付長延先重少初為

少尋以老中酒并權後守忠勝為方
兵職今一交也 城仕板 思石也
上意之類少少為大痛之也 城難
仕同年七月晦日死六拾一歳若中
感應寺地中國曉院葬

右德院様御筆時多々以画障以掛也
大猷院様御筆花鳥風月四字之御掛物屏風
今以石持

直成

大愚次郎玄清

授助

道宗

隱居

寛永四年秋傳勅之次不叙○同十
四年二月七日並加増貳百石於合子石
○同年八月之書院普○同十二年
日光 御社系之石當方諸道具在
○寛文二年六月廿六日相列走水奉
納○同十二年十二月於御湯○貞享

二宮年八月之日老免券合○元禄六甲
午年七月九日湯后利發○同六百甲十
二月十八日死八十歳日寺葬

直保

大愚次郎玄清

授助

甚在焉

寛文十二年六月廿六日小性組○定宝
二年年山切米二百俵○元禄二年
八月十日相之石同年
九月十八日小老多傳入○同又甲午年三月

十八日如書院番○同年七月九日安堵○
 同十二庚年九月十日火事場御用○
 同十二辰年三月火事御用御番○三徳
 二辰年五月十一日病免○享保十二甲年
 九月十一日死七拾六歳同寺葬

直性

実大藏後助直寛二男
 大藏次郎左衛門 少助 直性

享保十二甲年十二月十二日安堵○同十六

直好 三男 甚平郎

享保十二年四月十一日
 新に召立りしに於て
 享保十二年四月十一日
 死に召立りしに於て
 享保十二年四月十一日
 死に召立りしに於て

亥年二月八日如書院番○宝曆七年
 十二月女将病免○同十二巳年十二月晦日
 隠居利發○同十二年四月死五十二
 六歳同寺葬

直賞

実大藏後助直寛三男
 大藏権左衛門 少助 直賞

宝曆八年四月十二日安堵○同十二年
 十二月晦日安堵○同十二未年七月十八日

以書院番○昭和六且年九月於_後府
立番_手眼_之長銀拾枚○安永二巳年七月
十六日死_年八歲_日寺葬

大巻次郎玄清

城_之助

直孝

安永二巳年十月七日_年家_子○同_年六月
七月二日西丸_以小性組○同七戌年九月
廿七日於_心里_以趣_大的 上覽_之時_服三○

同年十月廿七日淺衣_之筋

沖成_之儀_与

多村苗同年十二月廿日_時服_之

孝恭院様

慶_平同八年四月十六日_日葬

九勤○天_以元_年同八月十八日西丸_勤

○同年十月八日_上大_的 上覽_時服_二

○_後里_不日_以 上覽_時服_三

上覽_時服_三 上覽_時服_子 上覽_時服_三

上覽_時服_三 ○同_年二月_上於_弱場_野

上覽_時服_三 上覽_時服_子 上覽_時服_三

磯村 上院尾抄繪文〇月六年三月

土日沖弓場始村子翌十二日令致取〇

同年閏十月廿日卯午九勅〇同七未年

十月十日吹上磯村 上院翌十一日令致取

〇寛政二年十月廿日卯午九勅

△ 〇天保元年十月廿日卯午九勅
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取

口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取
口年より大島磯村口より令致取



源姓

家紋

稻穂
瑞籬草

大島

二百百二十石

清和天皇六世在逃の府義徳、後亂三河國、人
大島又次郎義久七世大島長左衛門義行を領

義成

大島吉十郎

天正元年 西暦一五七三年 公出天正五年中

知行所書出、北通取持。天正十九年

六月三日知行二百石所兼中領裁令取持

○安長已亥年三月十三日病死歲四十二
相州高尾郡中利田村西光寺葬

義次

大忠七重門

父家傳。伏見二年春在勤中身死。二拾石
奉旨。成下。取吉。公。以下。名。以。任。後。治。任。者
。頂。戴。不。仕。王。後。相。預。知。所。序。長。可。有。重
。他。之。頂。戴。不。仕。以。中。主。細。之。二。百。之。拾。石。成。○寬永
十。五。年。並。也。加。坊。沙。苑。某。百。俵。

衣德流掃方洋領也。河色紙。衣。 河高寺
。也。今。之。抄。持

袖乃。之。意。示
誰友
。月。は
。中。は
人乃。也。と
也。と

安長十八庚戌年六月廿六日病死。河高寺
西福寺葬

義正

大畠他左衛門

父の家傳。其後大由首。其後所腰和奉仍
勤 他拾年病歿。其後二己亥年八月廿六日病歿
歳七十比葬地同上

義正

大畠長玄傳

元和七年酉年從叔左位大中書卿百依。明曆
二酉申年二月廿七日病歿。口寺

義正

大畠他左衛門

古十郎

明曆二酉申年十二月父義正於左位之訖武。
万治二己亥年十二月廿六日嫡孫義祖取孫計
百依長之。寛文九己酉年六月七日大由首。
元禄二己巳年六月十日所夫与友之。同
比辛未年二月廿日病歿。元禄六癸酉年九
月廿六日病歿。比十六葬地同上

義正

大畠長玄傳

兄、養子○延宝三乙卯年六月廿日初。
 御目見○延宝六戊午年三月廿九日從於在位
 大由者○元禄七甲戌年十二月十一日家務。
 同十一戊寅年正月廿六日小普請奉引。元
 禄十二乙卯年閏九月十七日病死。葬比十八葬
 同也。

義兼

安内及七正房次男
大由者之助

養子○元禄九酉子年六月十日初。御目見

同十二乙卯年十二月九日家務○同十二庚辰年
 正月廿八日病死。葬廿七葬同寺。

知義

安内及七正房次男
大由者之助

武助 長之助 小次房

養子○元禄十三庚辰年七月十日家務○同十
 四年乙卯年二月十日大由者○正徳二壬辰年閏
 八月十六日二之九御廣友友之次○同年八月
 廿二日 御弟常世改○享保二丁酉年十月廿日
 病死。葬比十六葬同也。

元義

大易傳馬 小治帝

養子○正徳六乙未年十二月十日祀。御日人
享保二丁酉年十二月廿六日家終○同七壬寅年
十二月十六日大出着○同九甲辰年十二月廿六日
新中女○宝曆十庚辰年十二月廿七日 御中元
裏御門友政○明和二年酉年十月廿六日
病先○明和七年宣年間六月十日病免榮
七年七葬同与

義位

大易傳馬 卷之五

宝曆二壬寅年十二月廿七日於左位大出着
同十一辛巳年十二月廿三日西九出納戸同年月
二日一統和九年癸卯宝曆十甲申年正月廿
八日眼病昏眩切米冬之養生病先○明和丁酉年
十二月廿四日熱除○安永八己亥年正月七日
病死榮同与

河内守

大島権左衛門

之教 令三申

直勝
正則

兼意二奏 己年河内領田之神田御成事

附清吉度取二百俵其以後清吉此組取改御

加増百俵○延宝六戊午年病先○元禄六壬

年七月廿六日隠居○同七甲戌年十二月十日

病死六十八歳

義継

大島八郎

元禄六壬申年七月廿六日家務○同七甲戌年

十月九日病死清吉本願寺中長教教与三歳

実國并治左衛門宗量次男

大島権右衛門

政一

元禄七甲戌年九月養子○同年十二月家務

○同十六癸未年正月十日大退去○宝永六戊子

年閏正月十二日新出立○延享二乙丑年比

月十一日病先○同二百寅年十月廿九日大退去

○同日丁卯年八月廿七日於二條在友病死同
蘇木之川寺所不禪寺中寺住持

政史

大德寺金書

法住令丸

享保十六年十一月廿六日於在任大德寺
○延享丁卯年十一月廿六日家務○宝曆八
成
安永二年二月十六日二條河城所門友之氏○
安永二年六月老先令二夜○同六月申年
正月廿七日法長○同九月年正月晦日病死同
中務寺地中寺教寺

葬

政副

高三百俵

宝曆己卯戌年閏二月廿七日養子○同七月
六月廿七日初七日安永六年申年正月廿七日家務
○同年十月十二日大德寺○宝曆二年戌年十月
廿三日高取門七年三月廿七日水邊寺

政院

大德寺金書

享保十六年八月廿七日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



源姓

大忠

家紋
槌楯

了二日五十六後

清和天皇六世九郎義綱後胤
三河國任人大忠又次郎義久十世大忠
他九郎義重次男

大國助九郎

義昌

慶安二宮年九月十七日新親小十人
○同年十二月廿七日拾人按抄下立

兼應元辰年十二月廿八日水切米百俵云
下並百又拾俵云○延宝七末年十一月
廿九日元方納戸○貞享元子年正月
十一日水加増六拾俵○同二丑年二月病免
○同三寅年正月十九日死牛也云云因
清源寺葬

重則

大恩布布在書之三十七卷

延宝六午年三月九日水十人同四月拾
枝抄○同八卯年五月十二日水切米百俵
○貞享二寅年七月十日水切○同年
十二月十九日元方納戸○元禄十五年
三月十八日新水書水加増五拾俵○同十六
午年六月廿六日相子水書○同年十月
廿二日水切書○同十六未年八月廿日
水納戸○同十七申年二月水切書入○
同年六月十五日新水書○伴長三清正徳

某

大忠令八節

三巳年七月廿六日八丈鶴白老後云 作身
以首遠急同年八月廿一遠急 仰免
○享保二酉年十月十八日病免○同六
丑年七月廿日死同寺葬○同平
義昌男
元祿六申年九月甲子以迎習書之新規
○同年十月廿六日大忠書

某

重別想欣

大忠吾玄語

○同十五午年三月廿九日病免○享保三
戌年十二月二日死後以子二代目大忠助登
後安永二年二月十八日也智云 作身家
以絶

正德二巳年七月廿六日不形跡有八丈鶴
遠傳享保九辰年九月遠傳 仰免

同十巳年六月十日内國高厚十一年四月
五月九

実大老令節基男

大老門十郎

流亡静行

義明

享保六年九月甲子義明○同十二年
六月廿六日大出馬○同十七子年十二月九日
刑部少輔通男番○同十九寛年六月廿日
涉同而小性○元文三年六月廿日病
免○寛延二巳年六月廿六日大出馬○宝曆

十二年国四月廿九日病免○天和九年
八月廿二日病后○天和二年十月
十三日死七拾六歳年也清深子孫

義方

大老秩十郎

流亡静行

高野百力拾俵

天和九年八月廿六日病后○安永二年
四月廿六日大出馬○同年六月廿二日
実方従父大老助在番つ候揚座表上

以有元和元年何々七月朔日

沖目見在急意同日二年二月十六日助左馬

少智少 作有以有杉又急意急何々同

年二月廿七日以番急意同年六月二日

涉免。天明七年十二月廿一日病免定

以七年十二月廿九日病免

賀安

栄亮 為之郎 右三右

寛政七年十一月廿九日病免
西暦一千七百九十一年九月廿九日病免
中つて

友原姓

家紋

丸内隈雜

大園

言七百石

大織冠強是分出友原教實後亂之河

國領人大是英法急忠右男大是急

忠章次男

忠久

大園次右衛門

言七百石

明暦二年十二月廿六日又急言三百石
余同子七百石余急領英法急言七百石

三百石次男忠久長幼地為加番三月加番
入家 作有室事致寛文三年三月
廿六日大加番○延宝七年正月廿九日
日組之次○同八年十二月廿二日加番
貳百俵○天和二年十二月十九日加番
為加番貳百俵○元禄十一年七月廿日
加番米百俵地方於合七百石○同十四年
十二月廿二日加番○正徳三年
十月九日死七十八歳相模國堤村淨見寺

忠藩

大忠忠九郎

貞享大辰年二月七日初見○正徳二年
年十二月廿七日家格○同六年六月
廿二日死年八歳日寺葬

忠代

忠藩

忠極

忠久三男
大藏左次郎

元祿二己年六月十日父次右衛門三條左番
由三男 冲目見○同十五年大藏左衛門
改春聲養子宝永七宣年養子辰元又
安永四年十月七日死

志明

大藏左衛門

正徳六甲午年十月廿日家傳○享保十六
亥年二月十八日死二十歳年之久成子養

忠乃

大藏左衛門忠乃三男
大岡次右衛門 拾三郎 徳后 豊山

享保十六亥年六月十二日家傳○元文
四年十二月九日大納言○享保二亥年
同四月十八日小納言○同年十二月廿一日
布衣○延享二丑年九月廿六日西九勤王後

寛文二年六月廿七日病免○明和八
年八月八日隱居○天明八申年八月廿
死^北十八^四某日寺葬

有徳院様沙代元又乙申年正月十日以村場

志 村中呂腹二月十日金成校○日年十月

十日吹上踏射 上院及村中後有○

寛保二戌年二月十日吹上文的 上院

内腹二

志 寛保二戌年二月十日吹上文的 上院

忠次 大忠久茂

言七百石

寶曆十三未年二月十二日初見○同年

九月廿

孝恭院極上王^上 由社系^上及少人騎馬供

奉○明和八年八月八日家傳○安永

三年四月女^上字^上以少村組○天明^二拜郎年

五月^上女^上進物以番○同年十月廿日進物

出番病免

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]



直成
直成 後原姓

家紋
丸内三刺菖蒲
檀九
三三白儀

大織冠謙足之世房末大臣之後胤中心
右大臣海教二男大忠吾吾忠教六代孫
三河國之伯人大同三年忠直二男大忠
二郎末末直改三代大同元年直吾男

直成
大忠次郎善
檀九物
道宗

寛永四年年表傳首石○同十年
並加増貳百石○同年八月六日書院為
○寛文二年六月廿六日走水事○
貞享二年八月二十日老免事○元祿
五申年七月九日德治○十二月十八日死○
感為地中園曉院葬

直信

直成二男

大園十郎左衛門

新子守

延宝六十年二月晦日新子守九三古傳小姓組○元祿
二巳年七月廿七日死同寺葬

直経

大園保左衛門

元祿二巳年表傳○宝永五子年十二月
十四日死○若若若若東長寺葬

直氏

實大卷之直氏直源男
大國伴右衛門

織社

寶永六年二月十三日家持○寬延四年四月之流指○寶曆二百年正月
直女之死早之兼口寺葬

英氏

英氏川右衛門直氏直源男
大國伴右衛門

太郎次郎

寬延元年十二月二日養子○同四年

年四月三日家持○寶曆二申年十月
十二日山平院書○安永六年六月九日
病免○同七戌年二月七日隱居○同八
亥年十一月九日死六拾兼同寺葬

祥延

英源人荒川九命直房直源
大國伴右衛門

言三百俵

安永五年九月廿六日養子○同七戌
年六月七日家持○天明四年正月

三月廿五日
初見寛政四年十一月廿七日
乙未十一月十五日病乞

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



藤原姓

家紋
桐原御格
丸花刺菱
四葉香

大因

字六右

大織冠藤原良兼房弟後胤中山右大臣
由教次男大忠善吉忠教次子孫三河國
住人大忠之右馬忠直次男

直政

大忠之郎右史

権之助

廣忠様
權現様
白出初形貳百石
代大以番

右徳院様沖代之勤仕死谷中感應寺葬

直政三男

大忠金二郎

直房

慶長之改年直政惣次大忠次郎之侍
新規之旨石之下直次男直房又遺跡三首
石相續之役也彼戸大坂西交之陣
也供其後死谷中感應寺葬

直元

大忠金右衛門

大徳院様沖代家侍之役大忠番之役並
以加増其石合其後死日寺葬

直次

大忠金右衛門

右徳院様沖代家侍其後大忠番○延宝元

享保十三年七月二日又直源奉教直
言八百石之月六百石惣从安直上跡或下
庄此百石次男米馬上分地○同二十一年
四月九日小姓組○延享元子年十二月
二日死牛也言田法輪寺葬

直義

大忠字三清

金十郎

延享元子年十二月廿二日家傳○宝曆

九年六月十一日西丸山院番○同七年
九月廿八日病免○安永四年六月十
二日小童傳不配組取○天明三年八月
二日死六十五歳日寺葬

直昌

大忠係織

松布 仁右衛門

安永六申年八月廿二日初身人○天明三
年十二月廿二日家傳○同四年八月廿

少平院番〇同八申年九月發府在番
寛政七年三月五日少平院番了

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



藤原姓

家紋

細輪内袷
丸内袴
丸内袴
丸内袴

大國 元河部

了百儀

大織冠謙是公出因系平晴了後流了了傳公

由大慶安田平年二代目源方是了父子是

依海國也遠流了作有公系系圖紛失

續不詳之河國田原浪之河源源方是了

正朝也

正卷

大忠源方是了

初河源源方是了

権現様上におまじり 仰目見直三奉云て仕立

奉蒙 上意一切承取百儀之人扶持奉

直所々陣御供之後中名河部三郎

云其其大園孫右郎内目付侍代官

子不能仕右跡段云 作月孫右郎候

御出候上上奉云仕立月孫右郎候

仕立奉云てお勤奉蒙 上意其御意

上意大急々お改幕之致とお改下旨

云 作月其後

三郎
御出候上上奉云仕立月孫右郎候

台徳院様御初年三月御出候 上意其御意

右々御出候お勤○慶長八年六月

御出候御出候等御出候

三茂妹

女子

御出候御出候御出候

台徳院様御御出候 台々御出候

台徳院様御御出候 御出候

御出候御出候御出候

権現様以上意ありて其名を宗茂
傳りて寛永九年八月十日死

宗茂

大園源右衛門 源三忠

慶長八年年表書之後

台徳院様上初年 沖目是〇同十八成年表
年有安友對りて中河内陣中供下侍
妻 上意對りて藤下三右衛門沖陣勤

仕之後大坂ありて陣勤仕〇元和
二辰年十一月に中間交配〇安永四年
組屋補之月九日忠孫在りて不念年
依後國上意流〇明暦三年四月
七日於日永死年八歳同相川五行
寺葬

女子

須磨

大猷院様上 御奉公上 沖院口 猛役 作月

相勤寛文九年二月廿六日死

正信

大巻源左衛門

虎三郎

慶安四年七月又組屋浦角丸掃蕩

至不及身又二回統海國古遠流云

作舟子方治元成年死 正延少幼来

右指儀之人杖打至下並云似若年若元

交成百月次登 城仕死至若元禄九

某 大巻源左衛門

父名を云はしむ
乃女抱持し上流
乃心におれ且且
三年より子なり

子年十二月廿六日加増右拾儀杖打上

合百儀以中百次元禄十五年四月廿五日○正徳元年五月

立。徳后○同二辰年七月死七十八歳

陣本々等正守葬

正房

大巻源左衛門

源三郎

元禄十五年三月廿四日男次是旨○正徳

元年五月六日家持又改改○享保十

正月十六日江州山門 神宮也修復也月處
 令拾為〇月十二年二月十九日同西塔
 新迦堂以修復也月處令拾為〇同年
 十二月廿九日右也月處令拾為〇同十三
 五年六月十七日南新大膳寺也月處令拾
 左部病死也月見也月用也月處令拾為〇
 明和二年二月晦日強州久能也
 神宮其也月修復也年業見也月用也
 令拾為〇同三年二月廿九日甲州也

也當也月用也月處令拾為〇同年六月
 二十日也月廢銀拾也〇同也子年也月
 初日死也年六也日寺葬

孟清

實和四年九月改之也

大忠源右也

右也源也

言也

明和二年八月廿五日也子〇同也子年
 八月八日也也〇日八年十二月十八日
 也也押〇安永三年四月也也也

改役並○同八申年十月廿二日淺草
湯屋水修儀水用銀五枚○同七戌年
二月二日日光 御宮 水壘屋本坊水修
儀水用同四月八日水修儀金貳拾五○同八
亥年六月二日日光諸堂社水修儀水用
銀五枚○同年十二月十二日右御用
儀銀貳拾枚○同九子年八月六日園東筋
川之水壘儀員論見分水用同十日水修
儀銀拾五○同年十二月十二日右御用掛

同十八日水修儀金貳拾五○天正元五年
四月廿六日右御儀銀拾枚○同六年
八月四日水修儀定吟味方改役○同月十日
初見○同七年八月六日天正元筋中水
修儀水修儀水用銀五枚預水換見三不
立合水用同十日水修儀金貳枚○同年
十月十五日御湯○同年十二月十日東
海道筋川之水壘儀水用掛同十六日水
修儀二金貳枚○同八申年三月晦日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



菰原姓

家紋 丸内不布隈雜
四ツ浪杏

大岡

字 式百俵

大忠忠有為 忠勝 室代 大忠 玄孫 忠章

大男

忠貴

大忠与右衛門

玄九郎

天和^二貞年十二月廿^十日 祐筆上

石出^{いしで}親式百俵 ○元禄八年^{しちごう}病免

○宝永八年^{たから}年正月二日死 中葉斗也

系町久成寺葬

美大忠若尾忠敏男

大園唯三郎

忠平

宝永二百年十二月十日妻于○同八年二月廿九日妾侍○正徳大末年九月廿二日死于平氣麻布湖雲寺葬

忠脩

美大忠次若尾忠久男

大忠久之忠

左門

栄政

正徳大末年十二月晦日妻于妾侍○享保九辰年十月九日小十人組○同十午年十月廿二日拂方納戸○同十六成年四月十二日新書○寛保二成年十月十二日西屋妻昔○同日子年二月十八日病免○延享元子年八月之隠居○同四年八月六日死于十四歳牛乙久成寺葬

忠敬

大忠忠玄清

傍節

与在馬 昭辰 昭辰山

延享元子年八月二日安葬○同二丑年
二月十二日大出番○寛延三年十二月廿
八日病免○明和二年四月十日隱居○
天明二宮年十月十二日死六十四歳日寺

忠英

忠英

美大忠之忠忠備前

大忠六歳

明和元申年九月十三日表子○同二年
四月十日安葬○同六丑年四月十四日大
出番○安永六申年十二月十一日病免○同
七戌年七月九日死六十四歳日寺葬

安永六年九月廿七日

大忠与右馬

又右久

忠原

言式百儀

安永六年九月廿七日
九月六日家持○同八年二月十二日大
小番○同九子年六月廿日二條在番泊得
實政元年十月廿六日

志壽

大忠徳太郎

重政六年十一月廿七日
口九年二月廿七日



源姓

家收 九月廿七日

大忠

言式百儀

法美

新田大次郎義重次男新田右郎義俊
又代孫大井田次郎氏結八代大井田
忠太郎重宗忠孫宗郎重長足利
幕府之付三州安原大忠大井田
入大忠忠嘉之孫陽乃解夫名大忠
親氏振勤仕重長八代孫
權現様沖代遠州町奉行大忠孫右助次男

清勝

大愚傳卷

權規様七十四歳時 沖目見以水村○永祿
土辰年冬別一捨之於十六歳高言名
○元禄三申年以合裁之時從款陣
武者一騎馳出物見仕

權規様

沖目見以水村○永祿
土辰年冬別一捨之於十六歳高言名

元 作舟欠付討五子高深子負
沖前上法 石出石花 沖威醫所九二

元 作舟其子○其後大有孫郎
者送公者 高仕以辰及一國兵
侍親又孫在馬 討子高 作舟係
傳舟子速無合組討仕 出討七孫
色之難有 上之有之其後亦高
名○國東 沖入國後之孫元辰年
知勢五百石拾石孫次○其子長之成年
沖秩袍同心五拾石 出討之國之東沖陣
供奉沖為陣後以加增五百石○其子長

九辰年伏見沙城番○大坂冬沙陣表
以先子寄場見是了了方上意高城
後大坂表先重○寛永十戌年死

清勝二男

○清春

大忠孫左衛門

表有院採沙代十人
拾人柱採子後新以番以足采百俵○
延宝二寅年二月十七日死年也傳久子孫

清沖

大忠新左

延宝二寅年六月廿六日表傳○天和
二戌年十一月廿八日大以番○貞享也
卯年二月八日於在番先死系於死在町
等号之年

清信

大忠甚平

孝子

貞享四年七月十日安堵○元禄
四年四月二十日大以番之後元方以納戸
○同十二年十月廿日死牛也傳久之葬

大忠甚之忠

義利

元禄十二年十二月十八日安堵○享保
十二年二月十日大以番○同十六年二月
二日病免○寛保三年十一月廿日死

牛也傳久寺葬

貞享四年七月十日安堵

義居

大忠孫也

秀隆

之助

寛保三年二月九日葬子○同年十
二月廿五日安堵○延享二年六月廿
二日大以番○同延享二年九月十九日
病免○明和七年四月廿三日隱居○
安永六年七月廿日死同寺葬

實儀音傳在東亞房第

義安

大忠孫左衛門

豐節 忠

字或百子拾俵

室曆九卯年十二月二日吉子○同七年

四月廿二日吉子○安永元和也辰年二月十日

大忠甫

實有本左系長國三男

義方

大忠常吉

實政五年七月廿三日聲吉子○日六年
五月十五日初見

源姓

本姓辰系

忠政

九郎高
三郎信丸

大忠

本苗大井田

子子忠

新田大炊助義重次男新田右郎義

後六代大井田次郎氏繼八代大井田

忠次郎重宗忠次孫曰重辰父子

時從是利家平井加有子○新田氏族

搜定依父子三列安條大忠大以律

社藏大忠忠嘉女○重辰忠嘉女

媛，家号大同改其後



親氏孫在任壬辰六代大忠忠右郎助義忠
大忠孫在任助宗
廣忠孫在任冬列町在約助宗忠願

大忠孫在任

助次

推現様沖代遠州河津約在七十五年

甲子子不元号河津御寺

清勝

大同傳卷

永祿九年十口氣

推現様、石出山小姓○同土辰年於列

一捨、府軍切○元龜三年於二方系

款一騎討元以時蒙祇

推現様沖前、石軍切、也賞

醫師丸山、大賀孫

河郎、送公、府文助次、追討、作時

於是交戰場首級之為大祿元年清勝
孫也即之也補信之再之蒙 冲威不
其後教度軍功有之其日年知約之百名
孫領度長元申年決地是將之拾人
之孫也其同又子年國之東河津信在
以均陣後不知增之百名○其長九辰年
伏見冲威番大坂冬少津以依○元和
元年大坂以均陣後大坂河城以番
○寬永元年死^了口^了持

清政

大同傳在事

其長十九宮年大坂以目見大坂
而為河津信在其後新親知約不
並其後家傳大以番組既○明曆元未
年十二月廿日死○年八某大坂永勝之妻

清重

大巻内前寺

系在

明曆二申年十二月廿一日依又教言子石
 月八日石來傳武百石交清傳分知
 ○寛文二寅年十月十五日依改○
 同年十二月廿二日以加増三百依同月
 廿七日布衣○同土亥年二月廿一日
 ○延宝八申年二月廿七日依改以加増
 子九百石於合二子石之後依改○元

禄二年八月二日死六十兼武列長櫻
 淨源寺葬

清純

大巻内郎吉丈

系在 寺福文

元禄二午年十二月十二日來傳之後奉為
 組頭○同七戌年十二月七日依后○享保
 七寅年七月二日死日寺葬

清相

大愚傳前子

大痴在焉

貞享二丑年六月廿六日祀見○元祿
 刻七戌年十二月七日安傳○同土宮年
 三月十九日山書院書○同十八年九月
 廿一日在別溪松引後○同十六未年
 四月十日少少傳令之夜○同年三月廿日
 御福○同年三月廿八日少傳書○同年

十二月廿一日布衣○室永二百年四月

廿八日山目月○同六月丑年十月十二日西九

山留与居同年十二月十八日諸古史○同八

卯年四月十二日長倚幸約○享保二百年

四月十一日死二午九葉牛也傳久寺葬

清祥

大圖三次郎

享保二百年六月廿七日安傳○同四亥
云

年十月十八日水書院書○同十二年四月
月廿四日死年九十歲同寺葬

庸清

美之教平信守具書
大卷之水

享保十二年七月廿日安葬○寛保三
年九月十八日死年九十歲同寺葬

清武

美之教平信守具書
大卷九十郎

寛保二年十二月二日安葬○延享二年
九月死年九十歲同寺葬

清宣

大卷信藏 小右郎

延享二年十二月二日安葬○天明六年
年十月十八日死同寺葬

美保村越前守正富六男

清定

大忠伴織

百太郎

三子石

天明六年十二月六日其日家傳復政

二年九月六日幼見

大忠

大忠



藤原

家紋

把標下階新
地内初輪達
号長吉

大岡

号子口首三千五不

大織冠謙足後孫及原教實末孫之河

國守利信人 大忠善吉長男

大忠忠左衛門

助左衛門

忠勝

助勝

享祿二年三州今橋合戦に付城守將

侍次と討捕

清康振多能 伊威長身に以持徳孫成○永祿

△
以享祿二年三州今橋合戦に付城守將
三州今橋合戦に付城守將
伊其長

日正年四月九日長嶽武敏等諸人叔田藤平、柳本守貞等

首級討獲○同十九日年六月二日相模國

三月廿五日討獲○同十九日年六月二日相模國
三月廿五日討獲○同十九日年六月二日相模國
三月廿五日討獲○同十九日年六月二日相模國

權現様 市部守貞等依 御代

右徳院様、市部守貞等依 寛永二年十二月十日同國

三月廿五日討獲○同十九日年六月二日相模國

己年二月廿八日死八十二歳淨見寺受戒

忠俊

大忠孫太郎

入海 石田治政中補之成及進之官同及御馬
屬古城別伏見城 龍崎長子子年八月
二月討死二十八歳

二男惣次

大忠忠四郎

侍従

忠行

元和元年大坂陣大坂番ニ供奉
六月七日西合戦ニ参戦 馬前討死男
子年三十一 上意才忠在馬 忠世世當

徳吉手○定宝九百年四月十日
内百俵次男不在忠英○
元子年六月晦日死七年四月十日

大忠忠四郎

侍従 忠四郎

美意二年七月二日初見○万治二年
七月十日小性組○寛文元五年十二月
以切米三百俵○定宝九百年四月十日

貞享二年七月廿二日使番○
同丑辰年四月十日死享年八歳同寺英

忠猪二男

大忠大左衛門

忠英

百俵分知事書院番之役高力侍従
組之元禄九子年四月晦日不慮
候之侍従と討果相果不慮家断絶

忠種

大忠忠臣節

付託孫子節

貞享五年四年秋書院為○元祿十
五年二月十日死二十九歳相列傳見と葬

其大忠為清の忠言也

大忠持麻呂 管之忠 忠臣節

忠慎

忠易

元祿十五年七月十日秋傳○室永二

貞享五年四月六日書院為○享保四年

十一月十日手紙すも作書院番組次○同十二年同

四月十日新番次大坂中代月後○同十六年八月

十五日小菅傳組次配○寛延三年六月

廿八日西丸水為子居紅青揚○宝曆九年十月

十六日西丸藤在約○日土巳年七月二日死

七十八歳日寺葬

忠后

大忠忠四節

長茂

延喜二年三月廿九日初見○寛延二
年十二月廿九日^{西元}書院番○寶曆十
辰年四月廿九日

大市所様附○同土巳年六月 莞沖二

日年八月三日西元勅○日年十月冒衣

○同十二年十二月十日

若君様附○明和八年正月十日使番○

同

同年十二月十二日大坂山目付代○同九辰

年三月廿八日山崎金右衛門○同年九月

十九日^期内湯○安永四年七月十二日見子

小鉄炮次○天明四辰年十月十七日死

六十^七歳日寺葬

忠慎

忠教

大忠忠四節

長茂

安永三年十二月廿二日初見○天明四辰

言子^子言^言格^格右^右右

年十二月廿一日未終。○月六年八月廿

四日晝書院書。○同年十月廿日晝動。○

月八申年十月廿一日未終。○月六年八月廿

二戌年四月廿一日未終。○月六年八月廿

火全道延福。○月六年八月廿一日未終。○

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



有系姓

家紋 丸白梅羅 四ノ盾杏

大忠

二子二子二子二子

大忠忠忠忠忠忠忠

忠告

大忠忠忠忠忠忠忠

忠告

大忠忠忠忠忠忠忠

大忠忠忠忠忠忠忠

大忠忠忠忠忠忠忠

大忠忠忠忠忠忠忠

大忠忠忠忠忠忠忠

常之...
...
...

多他院...
...
...

...
...
...

東陽門...
...
...

力以...
...
...

年六...
...
...

上...
...
...

某...
...

...

忠章

...

元和七...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

郡松村淨見寺并

忠宗

大皇太后御

寛永十九年十一月廿七日
百俵申出御進奉
死之程申出御進奉

忠信

大皇太后御

寛永二十一年十一月廿七日

延宝六年十一月廿七日

忠之

大皇太后御

御

四曆二十一年十一月廿七日
石下才治古馬上
寛文七年十一月廿七日

女御所出御進奉

年六月八日... 天和元年四月...
 五月... 天和元年七月...
 天和元年八月...
 天和元年九月...
 天和元年十月...
 天和元年十一月...
 天和元年十二月...
 天和元年正月...
 天和元年二月...
 天和元年三月...
 天和元年四月...
 天和元年五月...
 天和元年六月...
 天和元年七月...
 天和元年八月...
 天和元年九月...
 天和元年十月...
 天和元年十一月...
 天和元年十二月...

忠品

右大臣

海部

天和元年二月...
 天和元年三月...
 天和元年四月...
 天和元年五月...
 天和元年六月...
 天和元年七月...
 天和元年八月...
 天和元年九月...
 天和元年十月...
 天和元年十一月...
 天和元年十二月...

貞元九年正月十九日京兆府
貞元十年正月十九日京兆府
貞元十一年正月十九日京兆府
貞元十二年正月十九日京兆府
貞元十三年正月十九日京兆府
貞元十四年正月十九日京兆府
貞元十五年正月十九日京兆府
貞元十六年正月十九日京兆府
貞元十七年正月十九日京兆府
貞元十八年正月十九日京兆府
貞元十九年正月十九日京兆府
貞元二十年正月十九日京兆府

忠陣

大志の忠陣

貞元九年正月十九日京兆府
貞元十年正月十九日京兆府
貞元十一年正月十九日京兆府
貞元十二年正月十九日京兆府
貞元十三年正月十九日京兆府
貞元十四年正月十九日京兆府
貞元十五年正月十九日京兆府
貞元十六年正月十九日京兆府
貞元十七年正月十九日京兆府
貞元十八年正月十九日京兆府
貞元十九年正月十九日京兆府
貞元二十年正月十九日京兆府

貞元九年正月十九日京兆府
貞元十年正月十九日京兆府
貞元十一年正月十九日京兆府
貞元十二年正月十九日京兆府
貞元十三年正月十九日京兆府
貞元十四年正月十九日京兆府
貞元十五年正月十九日京兆府
貞元十六年正月十九日京兆府
貞元十七年正月十九日京兆府
貞元十八年正月十九日京兆府
貞元十九年正月十九日京兆府
貞元二十年正月十九日京兆府

忠料

大志の忠料

貞元九年正月十九日京兆府
貞元十年正月十九日京兆府
貞元十一年正月十九日京兆府
貞元十二年正月十九日京兆府
貞元十三年正月十九日京兆府
貞元十四年正月十九日京兆府
貞元十五年正月十九日京兆府
貞元十六年正月十九日京兆府
貞元十七年正月十九日京兆府
貞元十八年正月十九日京兆府
貞元十九年正月十九日京兆府
貞元二十年正月十九日京兆府

元禄二年二月九日、死後追贈正四位上

忠穆

神忠禁

忠穆 忠穆 忠穆

元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上

元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上
元禄二年二月九日、死後追贈正四位上

勤王有河原三日月年九月庚辰日
初七日年十月形山所法年
十二月年十月形山所法年
七月庚辰日山所法年十月
二月死日山所法年十月

忠順

天正十一年
大志

山和元年十一月十日庚辰子日年九

月七日家信の書山三年四月十日
西九月書信番〇日七年十月十日
死日拾三歳山所法年十月

忠郷

大志

山和元年十一月十日庚辰子日年九
西九月書信番〇日七年十月十日
死日拾三歳山所法年十月

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or official document, spanning across the gutter and onto the right page.



大園 有東江

家紋 瑞籬
言及百名

大園大港忠之助

忠厚

大園大港

助十郎

之福于己七年十二月廿五日自左分知
小書信の宛以之申年六月十二日書
謹番の日文子年九月廿六日死也後送
公事得論子等

忠實

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日
大正五年十月十日
大正五年十一月十日
大正五年十二月十日

忠義

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日
大正五年十月十日
大正五年十一月十日
大正五年十二月十日

忠正

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日

大正五年七月二十日
大正五年八月十日
大正五年九月十日
大正五年十月十日
大正五年十一月十日
大正五年十二月十日

寛政六年九月二十七日

忠祿

大島宗之助

三浦百太郎

寛政六年九月二十七日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



右京姓

家紋

丸内 瑞雲

大島

三浦

百太郎

大島宗之助 寛政六年九月

忠通

大島宗之助

三浦百太郎

寛政六年九月二十七日
大島宗之助 寛政六年九月二十七日
三浦百太郎 寛政六年九月二十七日
大島宗之助 寛政六年九月二十七日
三浦百太郎 寛政六年九月二十七日

友の國守之元年七月廿六日地元の事
二月廿九日及廿九日地元の事
○日十四年九月廿六日地元の事
年八月廿九日地元の事

奇事

忠方

忠方

忠方

皇承元元年二月廿九日地元の事

元年二月廿九日地元の事
月廿九日地元の事
九月廿九日地元の事
九月廿九日地元の事

忠主

忠主

忠主

皇承元元年二月廿九日地元の事
皇承元元年二月廿九日地元の事
十二月廿九日地元の事

四年十一月廿七日... 九年十月廿九日... 十年十月廿九日... 十一月廿九日... 十二月廿九日... 十三年十一月廿九日... 十四年十一月廿九日... 十五年十一月廿九日... 十六年十一月廿九日... 十七年十一月廿九日... 十八年十一月廿九日... 十九年十一月廿九日... 二十年十一月廿九日... 二十一年十一月廿九日... 二十二年十一月廿九日... 二十三年十一月廿九日... 二十四年十一月廿九日... 二十五年十一月廿九日... 二十六年十一月廿九日... 二十七年十一月廿九日... 二十八年十一月廿九日... 二十九年十一月廿九日... 三十年十一月廿九日... 三十一年十一月廿九日... 三十二年十一月廿九日... 三十三年十一月廿九日... 三十四年十一月廿九日... 三十五年十一月廿九日... 三十六年十一月廿九日... 三十七年十一月廿九日... 三十八年十一月廿九日... 三十九年十一月廿九日... 四十年十一月廿九日... 四十一年十一月廿九日... 四十二年十一月廿九日... 四十三年十一月廿九日... 四十四年十一月廿九日... 四十五年十一月廿九日... 四十六年十一月廿九日... 四十七年十一月廿九日... 四十八年十一月廿九日... 四十九年十一月廿九日... 五十年十一月廿九日... 五十一年十一月廿九日... 五十二年十一月廿九日... 五十三年十一月廿九日... 五十四年十一月廿九日... 五十五年十一月廿九日... 五十六年十一月廿九日... 五十七年十一月廿九日... 五十八年十一月廿九日... 五十九年十一月廿九日... 六十年十一月廿九日... 六十一年十一月廿九日... 六十二年十一月廿九日... 六十三年十一月廿九日... 六十四年十一月廿九日... 六十五年十一月廿九日... 六十六年十一月廿九日... 六十七年十一月廿九日... 六十八年十一月廿九日... 六十九年十一月廿九日... 七十年十一月廿九日... 七十一年十一月廿九日... 七十二年十一月廿九日... 七十三年十一月廿九日... 七十四年十一月廿九日... 七十五年十一月廿九日... 七十六年十一月廿九日... 七十七年十一月廿九日... 七十八年十一月廿九日... 七十九年十一月廿九日... 八十年十一月廿九日... 八十一年十一月廿九日... 八十二年十一月廿九日... 八十三年十一月廿九日... 八十四年十一月廿九日... 八十五年十一月廿九日... 八十六年十一月廿九日... 八十七年十一月廿九日... 八十八年十一月廿九日... 八十九年十一月廿九日... 九十年十一月廿九日... 九十一年十一月廿九日... 九十二年十一月廿九日... 九十三年十一月廿九日... 九十四年十一月廿九日... 九十五年十一月廿九日... 九十六年十一月廿九日... 九十七年十一月廿九日... 九十八年十一月廿九日... 九十九年十一月廿九日... 一百年十一月廿九日...



源姓 家紋 包栲楳
大長 二の百五十五
吉野宮内奉房次郎

惣 大長河守 甚志郎

永福寺成平十月...
指板橋...
天正十二年...
武百石... 十八...

多之山如信公名之兄其在東之國法
宗在右月心家海人任因在右使方之月心
計河江信公之弟也十年二月之北安
二集

助次

大正十三年

大正十三年二月之北安
文右為知行前住信公之弟也十年
二月之北安

助久

大正十三年

大正十三年二月之北安
信公之弟也十年二月之北安
七年二月之北安

助英

大正十三年

大正十三年二月之北安

天保四年八月廿九日
天保五年七月廿九日

即年

大正十三年

天保四年八月廿九日
天保五年七月廿九日
天保六年六月廿九日
天保七年五月廿九日
天保八年四月廿九日
天保九年三月廿九日
天保十年二月廿九日
天保十一年一月廿九日
天保十二年十二月廿九日
天保十三年十一月廿九日

即年

大正十三年

天保四年八月廿九日
天保五年七月廿九日
天保六年六月廿九日
天保七年五月廿九日
天保八年四月廿九日
天保九年三月廿九日
天保十年二月廿九日
天保十一年一月廿九日
天保十二年十二月廿九日
天保十三年十一月廿九日

成寛

天保四年八月廿九日

大正十三年

天保四年八月廿九日
天保五年七月廿九日
天保六年六月廿九日
天保七年五月廿九日
天保八年四月廿九日
天保九年三月廿九日
天保十年二月廿九日
天保十一年一月廿九日
天保十二年十二月廿九日
天保十三年十一月廿九日

去の春四月廿七日... 又翌の同年十月廿九日病歿

Handwritten text in a rectangular box, likely a transcription of the main text.

Wataru no...



名原姓

家茂

細輪松垣
四指杏

大是

二の石

長安... 廿年... 母の

南子... 公

右の

浦... 氏

力... 氏

寛永... 年... 氏

大... 氏... 年

口... 氏... 年... 氏

石下。西暦二申年。病死。享年六十。
百治元年。八月。卒。享年六十。麻布
湖。享年六十。

改春

三月。國有改春。命

太皇太后。命

天皇。命

百治元年十一月。天皇。命。改春。命。
又。百治元年十二月。天皇。命。改春。命。
○。天皇。命。改春。命。改春。命。改春。命。

百治元年。天皇。命。改春。命。
又。百治元年。天皇。命。改春。命。
○。天皇。命。改春。命。改春。命。改春。命。
百治元年。天皇。命。改春。命。
○。天皇。命。改春。命。改春。命。改春。命。

志極

天皇。命。改春。命。
天皇。命。改春。命。

有章院御行遊生之長山暮自去取之徒
二三年十二月十四日自入右殿内御平
兼善之御後頂戴之皇孫實年十月十日
九日家務の以九辰年十月九日京内住
日十二月年一月日定在休山左具身以
○以三月十日自使書○以四月年八月日
自月○元文元年七月十日少山北住居
以四月年十二月十日自使書○以五月年
四月十日自使書○以五月年十月十日
四月十日自使書○以五月年十月十日

湯○同之黃年九月十日自入右殿内御平
○以五月年十月十日自使書○以五月年
四月十日自使書○以五月年十月十日
四月十日自使書○以五月年十月十日

忠道

右殿内御平 七月十日 忠道 常日

元文元年九月十日自入右殿内御平
十月十日自使書○以五月年十月十日

二月廿二日 京北庄通書以の書以之 年十月
高百書通書以の以中 年四月日
依の以六月 年九月有死中 年四月

書

大書之書 十三節

長山守中 年十月廿二日 出月 以の以
十月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
大の以之 書以の以九月 年十月

書百京通書以の以二月廿二日 守中 以の以
年十月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
二月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
五月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
八月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
十一月廿二日 書以の以九月 年十月廿二日
陰陽 書以の以九月 年十月廿二日
射為射以の以九月 年十月廿二日



友原姓

持原掛信
九割元
四割元
五割元

字二百名

久松三郎重直改入久松大松三郎重直重直

以男系也

久松重直

久松求馬

享保十二年七月百三郎重直重直

知ら得事あると受

Handwritten text in a rectangular box, likely bleed-through from the reverse side of the page.



正徳
の
か

友東姓
家紋
持麻掛箱
九月三
日花菱

大藏冠藤足二世序者大信流中
大信流教二男大信流教
位入大信流教三男大信流教

直吉
大信流教

甲辰勅書抄百條。月九辰年十月有
以平系上十月十日有由是去後初見由所
○天以辰年十月十日有死○年七系年藝字

直陳

大島橋人席

源太郎

高三百條

天以辰年二月十日有由所係○宛

改元○年十月十日有由所係○宛



源姓

家紋 丸高其

大島

字或百條

大井氏源氏神字辰年十月十日有由所係○宛
大島氏有由所係○宛

源宗

大島氏有由所係

百條是源氏源氏有由所係○宛

八甲年元方也納戶由高之續病久少言
治。室永元中年二月廿日死之十歲
年也傳久少言

漢貞
大長安少師

室永元中年四月廿日死之十歲
四月廿日又由。高保二弟。四月廿日
死之十歲

漢長
大長安少師

高保之成年九月二日死之十歲
四月廿二日死之十歲。高保之
二年三月廿日死之十歲。高保之
二年二月廿日死之十歲

漢克
大長安少師
高保之

宝曆十二年正月廿七日
三四年八月廿日人書。天明元
十二月廿日夜光少書。日七
九月廿日私信入海并体頌
身及遠之御中。此中揚
所及之。及之。及之。及之。
日廿二日。所見遠之。及之。
大坂書代。人。在。中。及之。及之。

二月廿三日体頌奉申。及之。及之。
大坂書代。日。廿。六。日。所見遠之。
之。結。之。及之。及之。及之。
永。二。三。〇。十。月。廿。七。日。大。坂。上。院。及之。

相飲



Faint, mostly illegible handwritten text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

源氏
大星 中名大井田
家致丸
三平格丸
子田吉太

大星孫四郎重辰八代孫大星孫吉連與次
次子

正成
大星吉忠吉連
久松

大星孫吉連十七歳三月初見書之以上云々

西宮三所御中札書遊之度

権理権之と云ふ天正十一年十月四日伏
知りお百名。是より天子年國々亦
西陣。伏する者た少月西陣。音の
お百名合子名。口は五年より十
之次。後口は少月西陣。音の
知り。お百名。口は五年より十
九年十月四日。西宮三所御中札書遊之度

西次

大正元年 八月

権理権 十月四日 西宮三所御中札書遊之度
二日後。大坂御陣。西宮三所御中札書遊之度
二年十月四日。西宮三所御中札書遊之度
一茶茶茶茶

西友

大正元年 八月

寛永三十四年位初在位大書二百俵
○同四年在位。○同五年二月令
○同六年令。○同七年九月
二百俵在位

山利

大書五百俵 小書二百

○同三年二月在位初在位大書
二百俵。○同四年二月至十二月
令

○同五年二月在位初在位大書
二百俵。○同六年二月在位
初在位大書二百俵。○同七年
二月在位初在位大書二百俵

大書五百俵 小書二百

利忠

○同八年二月在位初在位大書
二百俵。○同九年二月在位
初在位大書二百俵。○同十年
二月在位初在位大書二百俵

あま年二月十三日在久多之屋
二秋。口の... 品日院...

正房

大島久三郎

明和六年七月朔、初見。○書水元

八月廿九日、九月... 茶門子

正藏

大島久三郎

想飲久三郎... 八月廿九日

○あま年三月廿七日朔、初見。天の也

辰年二月十日死... 茶門子

正恒

大島清前之郎

三月廿七日... 書水元

天の也辰年四月廿日始... 祖。寛

又三亥年四月廿一日初見。○天の也年

己卯年正月七日

大指

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

大指

元祖 宗興 某

持刀... 元祖... 宗興... 某...
[Faint bleed-through text from the reverse side]

二代目 道心 某

在德院... 道心... 某...
[Faint bleed-through text from the reverse side]

三代目 宗興 元陣 道心 某
...
[Faint bleed-through text from the reverse side]

五ノ九

宗元正統 和家氏

方注所代其原之南中平一十月五日 天
所自乙巳 卯年四月十日 在 可也如如
多也此 卯年四月十日 在 可也如如
年リリ一六十月 卯年四月十日 在 可也如如
之原所代其原之南中平一十月五日 天

五ノ九 宗元正統 和家氏

宗元正統 和家氏
卯年四月十日 在 可也如如
年リリ一六十月 卯年四月十日 在 可也如如
之原所代其原之南中平一十月五日 天

卯年四月十日 在 可也如如

五ノ九 宗元正統 和家氏

卯年四月十日 在 可也如如
年リリ一六十月 卯年四月十日 在 可也如如
之原所代其原之南中平一十月五日 天

五ノ九 宗元正統 和家氏

卯年四月十日 在 可也如如
年リリ一六十月 卯年四月十日 在 可也如如
之原所代其原之南中平一十月五日 天

五ノ九 宗元正統 和家氏

方宗乃早世乃亦以絶之
方宗乃早世乃亦以絶之
方宗乃早世乃亦以絶之

方宗乃

宗桂果

和宗

正徳三年九月

方宗乃

宗浪果

文和元年九月

方宗乃

宗桂果

方宗乃早世乃亦以絶之

方宗乃

宗桂果

方宗乃早世乃亦以絶之

方宗乃

宗桂

和宗

方宗乃早世乃亦以絶之

方宗乃

宗桂政秀

和宗

方宗乃早世乃亦以絶之

去印日

宗極政名

印字痕

文化十三年七月廿九日



多野

宗極政敬

印字全

[Faint, illegible handwritten text]



